

まちこの県政報告



Vol.7

MACHIKO ARICHICA
PREFECTURAL ASSEMBLY REPORT

発行元／有近まちこ事務所 発行日／2023年1月10日

まちこの主張を分かりやすくお伝えします。

- ・水道事業の危機を救うのは広域連携！
- ・産科・小児科医師不足に根本治療を！
- ・eスポーツ、見学してわかった効能！

★新ホームページ <https://arichika-machiko.jp/>



新ホームページ
フェイスブックの最新記事が、こちらでもご覧いただけます。

皆さまから広く意見や思いをお聞きし、共に考え、地域の課題解決と明るい未来実現に向けて、スピード感とわかりやすさを大切に行動する。そんな議員であり続け取る、いわば双方向のアンテナなのです。

このホームページはそのための情報発信とご意見を受け取る、いわば双方向のアンテナなのです。

たとえこのホームページを開設を機に改めて決意しました。

このホームページはそのための情報発信とご意見を受け取る、いわば双方向のアンテナなのです。



山口県議会議員
弁護士
有近まちこ

もっと政治をあなたの近くに!
ホームページが生まれ変わりました。

- 1 企業の目線に立った産業戦略の推進
- 2 水道事業の基盤強化（中面でご報告）
- 3 地域の産科・小児科体制の維持
- 4 次世代にとって魅力的な建設産業の構築
- 5 自転車の活用推進
- 6 eスポーツの推進（中面でご報告）

自転車は環境負荷が少なく、健康増進に効果があり、観光振興にも役立つ移動手段。これの更なる利用促進策の実施を要望しました。

県からは、今後も総合的・計画的に推進するとの回答を得ました。

●質問の様子は、右記のURLから動画でご覧いただけます。 <https://yamaguchi-pref.hotstreaming.info/list?m=2&s=108>



明日の安心・安全のために
すぐやるべきこと、要望しました！



道路の要望で齊藤国土交通大臣訪問



安倍元首相の
県民葬への
賛成討論



道路・橋梁・河川を視察し、
事業の早期実現を要望(柳井)



生産者に寄り添った農地整備を要望(新庄・余田)



3年ぶりの金魚ちょうちん祭り



文教警察委員会・決算特別
委員会にて副委員長を務める



柳井駅前で
交通立哨



スマート農業を
視察



柳井市
観光協会の
新役員さんと



来年度予算編成への
要望を市町や団体の
皆さんから頂戴する



県漁協柳井事業所を視察



リーオリハ
サザンセト
ウェルネスサイクル
発表イベント参加



柳井ライオンズクラブ
認証60周年記念式典



県下第一斎フードバンドリー事業に参加



平郡島の県道や港の課題を調査し
県に要望

4年の任期が、いよいよ
終わりに近づいてきました。
県議会議員としての職責を果たさせて来
れたのかと、これまでの歩みを顧みる今
日この頃です。

これからも、活動のご報告と共に、山口
県を良くしたい！という強い思いをお伝
えし、皆さまのご意見をしっかりとお聞き
していきたいと考えています。

柳井地域そして山口県の未来に責任
を負う県議会議員としての覚悟と矜持を
持つて、全力で頑張ります。

引き続き、ご指導とご鞭撻のほど、どう
ぞよろしくお願い申し上げます。



■ 県政報告ミニ集会 開催予定

会場名	開催月日	開催時刻
平郡東公民館	2月 1日(水)	10:15~11:15
平郡西へぎ地集会所	2月 1日(水)	12:30~13:30
大畠公民館	2月 2日(木)	14:00~15:00
柳東文化会館	2月 3日(金)	14:00~15:00
日積公民館	2月 6日(月)	14:00~15:00
伊保庄公民館	2月 8日(水)	14:00~15:00
ふたば集会所(大屋)	2月 9日(木)	10:30~11:30
余田公民館	2月 9日(木)	14:00~15:00
新庄公民館	2月10日(金)	14:00~15:00
伊陸公民館	2月13日(月)	14:00~15:00
阿月公民館	2月14日(火)	15:00~16:00
農業担い手センター(南町)	2月16日(木)	14:00~15:00
柳井市文化福祉会館	2月17日(金)	14:00~15:00



有近まちこ事務所

〒742-0011 山口県柳井市新市沖5-20 TEL/0820-25-3910
FAX/0820-25-3950 E-mail/arichikamachiko@gmail.com

質問 1

水道事業の基盤強化について

水道事業の現状

市町による小規模事業体 水道事業の経営難 (水道料金の値上り)

対策

地域の連携

- ・機器の共同購入
- ・委託業者の共同発注
- ・将来の事業統合



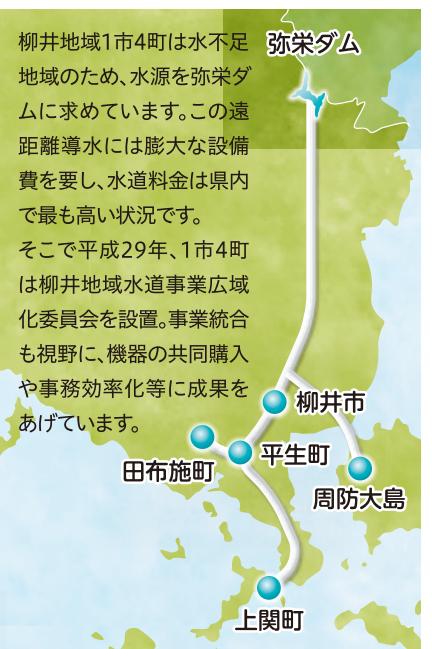
甚大な災害が発生したとき、水道水の提供を受けるために長蛇の列ができる光景が、いつもテレビに映りました。その度、水が自由に使えることの有難さを痛切に感じました。実はその水道が、災害に因るだけでなく、地味に、でも確実に傷みつつあります。

【現在の水道事業が抱える問題・課題】

- ①施設の老朽化(漏水・破損は全国で年に2万件以上)
- ②頻発する災害への対応(耐震化含む)
- ③専門的な人材の不足
- ④人口減少による水道料金の収入減
- ⑤小規模経営で基盤が脆弱(多くが市町単位)

老朽化した施設の更新、耐震化にも対応するとなれば、膨大な予算が必要です。しかし、水道料金による収入は人口減によって少なくなる一方。しかも、暮らしに直結する水道料金ですから、安易な値上げはできません。この問題はもはや、市町単位で対応できる問題ではないのです。

■事例／柳井地域での広域連携の取組



現実的で有効な対策の一つに、広域連携があります。

【水道事業の広域連携によるメリット】

- ①施設の共同整備・更新
- ②運営事務などの効率化
- ③将来の事業統合への足掛かり

県議となり初めての一般質問(令和元年9月)において私は、水道事業の広域化も含めた基盤強化の必要性について質問。その後、県は「山口県水道ビジョン」を策定し、広域連携に向けた取り組みを開始しました。この度、改めて水道事業の基盤強化の重要性を訴え、県のより積極的な取り組みを要望しました。

県の回答



県と各事業者による検討・調整の場として「水道基盤強化連絡協議会」を立ち上げました(令和3年)。さらに今年度、広域連携についてのシミュレーションを実施。具体的には、広域連携の組合せパターンで、今後40年間の財政収支などの推計による広域化の効果検証を行い、公表します。こうした取り組みを通じて、今後も水道事業の基盤強化に積極的に取り組んでまいります。

質問 2

地域の産科・小児科体制の維持について

大切なことは…

医師の
不足



これまでの対症療法

- ・医学生への修学資金貸与
- ・医学部の入学者増(地域枠)

求められる根本治療

- ・専門性を高められる環境
- ・勤務体制・労働時間・賃金の見直し



【県や大学によるこれまでの対策】

- ①医師修学資金の貸与／県内勤務が償還免除要件
- ②山口大学が地域枠定員を設置／出願要件は山口県出身で卒業後も県内の医療機関に従事する意志がある者
- ③地方でも専門性を高め、技術向上がかなう仕組み作り
- ④医師として情熱を持ち続けられる勤務体制・賃金などの労働環境の改善への支援

【根本的な対応策の例】

- ①先日、6歳になる長男が夜中に具合が悪くなり、とても不安な思いをしました。夜中でも駆け込める小児科があるかどうか。大変重要なことだと身につきました。
- ②少子高齢化が進むなか、とりわけ産科・小児科の医師不足は深刻です。
- ③山口県においても、これまでに次の対策がとられ、一定の成果があがっています。

全国的に地方における医師不足が問題になっています。少子高齢化が進むなか、とりわけ産科・小児科の医師不足は深刻です。

しかし、これらは根本的な解決策ではありません。医師の方から、県内で働き続けたいと思ってもらえるような、例えば次のような仕組み・環境が求められています。このような取り組みについて、県に要望しました。

しかし、これらは根本的な解決策ではありません。医師の方から、県内で働き続けたいと思ってもらえるよう、例えば次のような仕組み・環境が求められています。このような取り組みについて、県に要望しました。

質問 3

eスポーツの推進について



大切なことは…
eスポーツの推進に効果あり！



秋吉台のコースを体験できるバー チャルサイクル・コンテンツを整備し、県内への誘客促進を図りました。今後も交流人口の拡大などにつながるeスポーツの振興を要望しました。

eスポーツの効能

- ・高齢者の認知症予防・生きがい創出
- ・子どもの引きこもり解消
- ・障がい者と健常者との触れ合い

県の回答

県にこののような効果効能を示し、eスポーツの振興を要望しました。

正直、eスポーツはただのゲームだと思っていました。しかし、高校生のeスポーツ合宿を目の当たりにして、その考えは一変しました。ルールや礼儀、チームの連帯感、そして真剣勝負。それはまさにスポーツそのものでした。

今やeスポーツは高齢者の認知症予防や生きがい創出、子どもの引きこもり解消など、社会問題の解決法としても注目されています。

県にこののような効果効能を示し、eスポーツの振興を要望しました。